

第3章

基本構想



第3章 基本構想

高浜市が今後目指す生涯学習の方向性

— 基本理念と3つの基本目標 —

市政運営の根幹となる「第7次高浜市総合計画」では、将来都市像として「人と想いが つなぐつながる しあわせなまち 大家族たかはま」を、教育や子育て・子育て分野の基本目標として「みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう」を掲げています。

このような総合計画における目標設定や、高浜市を取り巻く現状・課題、今後の社会潮流の変化などを見据え、「第3次高浜市生涯学習基本構想」では、高浜市における生涯学習・文化・スポーツの推進に向けた基本理念と、基本理念を実現するための考え方や姿勢を示す基本目標を、次のとおり定めます。

1.【基本理念】

「みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう

～学びをつなぐ 学びでつながる 大家族たかはま～」



生涯学習・文化・スポーツは、教育、子育て・子育て、福祉、健康、産業、防犯・防災、環境、多文化共生など、人づくりやまちづくりの原動力、土台となるものです。

市民一人ひとりが学びや暮らし、人生を通じて培ってきた知恵・特技・経験をまちの財産としてとらえ、自分の中だけにとどめてしまうのではなく、誰かに伝えたり、地域の中で役立てることで、市民同士のつながりが深まります。また「もっと知りたい」、「高浜市が好き」、「誰かのため、地域のために何かやってみたい」といった、さらなる知的好奇心・意欲やまちへの想いの高まり、まちづくりへの参加・参画の裾野の広がりといった循環にもつながっていきます。

そして、学び合いを通して、お互いの個性や多様性を知ることは、新たな価値観やアイデアの源が生まれ、まちの未来を切り拓く力となっていきます。

そこで、高浜市における今後の生涯学習・文化・スポーツ推進にあたっての基本理念を「みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう ～学びをつなぐ 学びでつながる 大家族たかはま～」と定めます。

STEP1 自己発見

自分も知らない自分に気づく、出会う
感動や体験に出会い、ときめく

興味を
持つ
体験する

「出会う・気づく・ときめく・たくわえる」

ひとづくり

家庭・地域・学校などあらゆる場・機会を通じて
たくさんの感動・楽しさと出会うことによって
心豊かな人生につながっていく

STEP2 自己実現

学びを実践していくことで、喜び・楽しさを感じ、
もっと知りたい、やってみたい!という思いがわき起こる



夢・希望
を持ち
人生設計
を描く

STEP3 自己変革

“なりたい自分”を目指して
自分を変えていこう

豊かなコ
ミュニケ
ーション
を育む

深く調べ
てみる・
挑戦する

「つながる・広げる・育む・ささえる」

STEP4 社会参加

自分の持っている力を人や地域のために
役立ててみよう

人に教
え・教え
られる

課題解決
に向けて
提案・行
動する

「つたえる・好きになる・活かす」

STEP5 社会変革

まなびの成果をまちづくりの
チカラに変えていこう

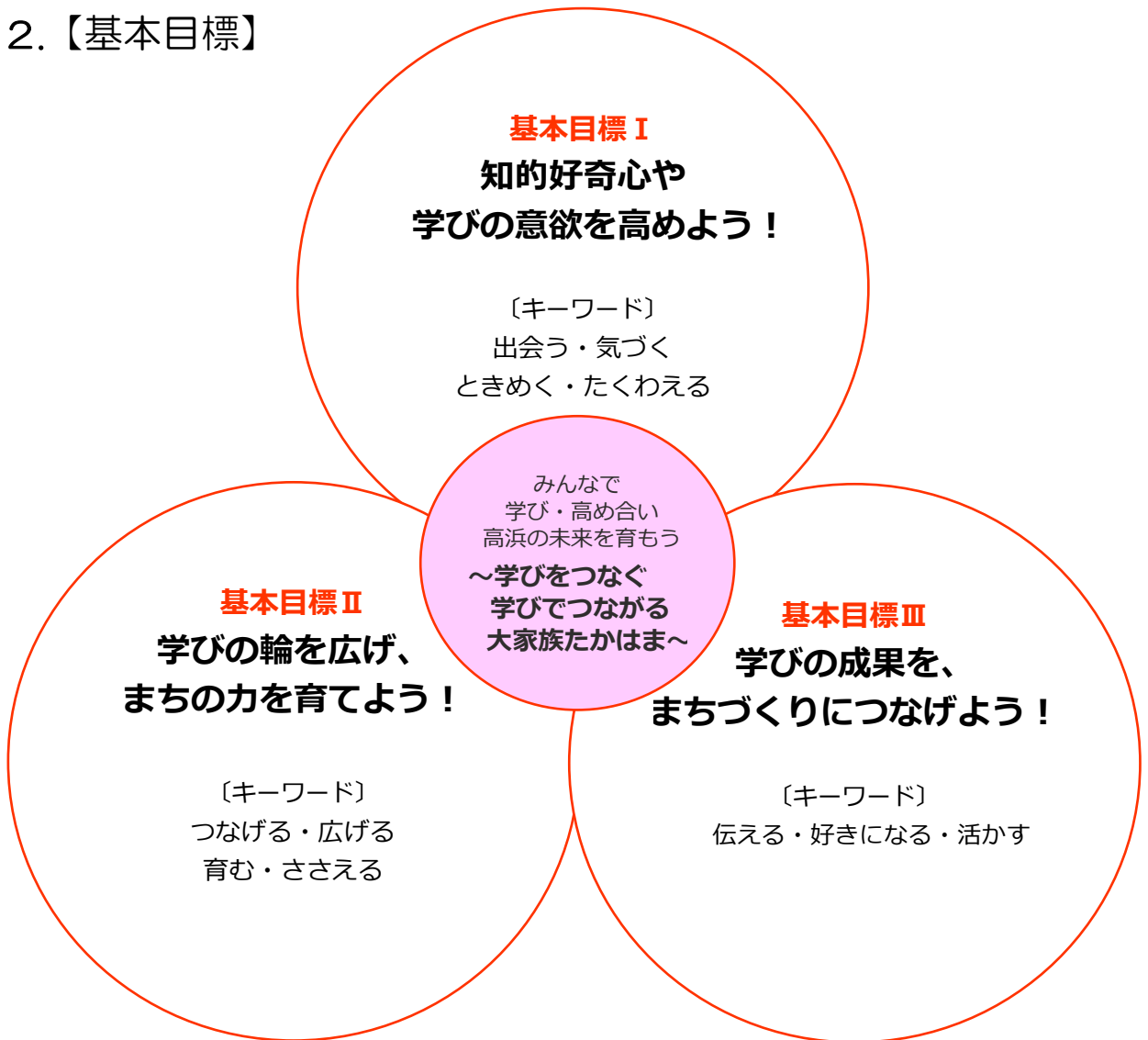
学びをつなぐ
学びでつながる
大家族たかはま
の実現へ

まちづくり

成長した子どもたち、学びによって力を蓄えた大人
たちは、次の世代へ感動や体験を伝えたり、まちづ
くりへと還元していく学ぶ意欲につながる感動や
体験を、伝えていく役割を果たす

これからの高浜市が目指す 生涯学習の姿

2. 【基本目標】



◆学びの **きっかけ** づくり

基本目標Ⅰ 知的好奇心や学びの意欲を高めよう！

一人ひとりが自らの興味や関心から端を発し、知識や技能を高めたり、創造性を育てていくことは、学びの第一歩です。人生100年時代、マルチステージ型人生^{*}と言われる中で、お腹の中にいる時から一生を終えるまで、「もっと知りたい」、「あれもやってみたい」といった知的好奇心や意欲を高める機会や、生き抜く力を磨くなど成長を続けられる機会を豊かにしていくことを目指します。

特に、子ども・若者に対しては、一人ひとりの個性や可能性を引き出し、夢や希望を持って未来に向かって羽ばたいていくためのサポートに力を入れています。

^{*}マルチステージ型人生：教育・仕事・退職後という3ステージの人生モデルから、仕事中心ではなく、家族との団らん、余暇活動、付き合い、ボランティア、地域活動、学びなおしなどを並行して行ったり、複数のキャリアを持つなど、多様な生き方を目指した人生モデルのこと。

◆学びを通した **つながり・人**づくり

基本目標Ⅱ 学びの輪を広げ、まちの力を育てよう！

人材は「人財」とも言われるように、市民一人ひとりが学びを通して培った知恵・特技・経験などは、有形・無形の財産です。個人の中だけにとどめてしまうのではなく、誰かのため、地域や社会のために役立てていくことによって、仲間づくりや絆づくり、「もっと知りたい」「あれもやってみたい」といった知的な好奇心や意欲の高まりなどにつながっていきます。

また、市民同士の学び合いを通して、お互いの個性や多様性を知ることにより、新たな価値観やアイデアの源が生まれ、まちの力を育む礎となります。

暮らしや学びを通じて培われた知恵・特技・経験等を活かせる機会、市民同士の学び合いを通してともに成長しあえる機会を豊かにしていくことを目指します。

◆学びを通した **まち**づくり

基本目標Ⅲ 学びの成果を、まちづくりにつなげよう！

高浜市における市民・議会・行政が果たす役割やまちづくりのルールを定めた「高浜市自治基本条例」の前文には、まちづくりの決意として「私たちの愛するまち高浜市を未来へつなげていくために」という一文があります。

今を生きる私たちが、今を生きる人たちのために、また、将来世代のために「住んでみたい」「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える高浜市を築いていくためには、まずは高浜市を知ることが大切です。

そして、まちづくりの原動力である「高浜市が好き」というまちへの愛着・誇りは、まちづくりに関わることから芽生えていきます。一人ひとりがまちの課題を「自分ごと」と捉え、行動していくことによって、また各々が培った学びをつなげ、その力を結集させていくことによって、まちの課題解決力や未来を切り拓く力を高め、「大家族たかほま」の実現を目指します。